

## あけましておめでとうございます



今回受賞された方々



出品された作品で玄関前が華やかに

交っていました。受賞者の方々の笑顔が飛び交っていました。さて、同コンテストを主催した特定非営利活動法人花いっぱい推進協議会は、まちの緑を大切に、道行く人のため花を育て、誰もが愛せる花いっぱいのまちをつくり、花いっぱい運動を豊かな心を育てる精神運動として社会全体に寄与することを目的に平成13年に設立された団体です。現在、和歌山駅前の花壇や和歌山市嘉家作丁に

毎年、10月下旬から11月上旬にかけて開催される「和歌山花フェスタガーデニングコンテスト」が今年も10月30日(月)から11月12日(日)まで和歌山市役所正面玄関前で開かれました。このコンテストは特定非営利活動法人花いっぱい推進協議会(森川勝理事長)主催で開催されるもので、今年で23回目を迎えます。開催期間中、色鮮やかな数々の作品が来庁される人々の目を楽しませてくれて

いました。10月30日(月)には持ち寄られた作品54点の中で審査が行われ、和歌山県知事賞、和歌山市長賞初め、9つの賞に計13人の方が選出されました。また、この期間中には寄せ植え無料体験も開催され、同協議会スタッフ指導のもと参加された市民の方も寄せ植えを楽しまれました。最終日の11月12日(日)にはコンテストの表彰式が行われ、受賞者の方々の笑顔が飛び交っていました。

和歌山市 花いっぱい笑顔もいっぱい!  
第23回 和歌山花フェスタガーデニングコンテスト



どれも力作ぞろいの作品



ある花広場の管理等、その名のとおり本市を花いっぴいにすべく活動していらっしゃいます。これからも花を通じて和歌山市をますます盛り上げてください。来年も楽しみにしています。



## 兵庫県姫路市

### 人と花・緑がめぐりあう城下町

#### 一般財団法人姫路市まちづくり振興機構

一般財団法人姫路市まちづくり振興機構は、姫路市の外郭団体として緑化啓発の展開及び緑化教育の普及や地域との協働など、身近な市民生活に関わるものから生物多様性の保全につながるものまで、様々な緑化事業に取り組んでいます。

姫路市の名所といえば「世界遺産 姫路城」ですが、JR姫路駅から姫路城へと続くメインストリートである大手前通りの歩道には、姫路城からいったん目を離し、足元も楽しんでもらう「花と緑のおもてなし空間」として、12箇所の市民花壇が設置されています。四季折々の花で、市民や観光客など通行される方々をおもてなししています。外国人観光客にも人気で、足を止めて撮影している姿も多く見られます。

市民花壇は年に4回、多くのボランティアの皆様にご



姫路駅から姫路城をつなぐ大手前通り(R5.11～R6.2夜間ライトアップ)

参加いただき植え替えを行っています。花と緑が好きな方が集まり、デザインから植栽まで楽しく活動していただいています。



姫路城までの道のりを、市民花壇で“おもてなし”



市民ボランティアによる植栽の様子

4回の植え替えのうち1回は「市民花壇植栽選手権」と題し、市内の各高等学校の有志がデザイン・植栽した12花壇の人気投票を行っています。次代を担う高校生に、花壇の植栽を楽しみながら競い合うことで、花と緑への関心を深めてもらうことを目指しています。

また、水やりや除草などの日常管理は、花壇周辺のサポーター企業の皆様によって行われています。さらに、スポンサー企業からの協賛もあり、多くの方々のチカラで市民花壇が支えられています。



大手前通り市民花壇植栽選手権 第1位の花壇(R5.9開催分)



サポーター企業による水やり

## 長野県信州新町

### 信州新町地区の花いっぱい活動の紹介

信州新町地区住民自治協議会 会長代行 黒岩伸雄



信州新町地区は、長野市の西部に位置し、中央に犀川が流れ秋の紅葉が美しい久米路峡やろうかく湖がある自然豊かな地域です。

平成22年1月に長野市と合併しましたが、合併前からアート&グルメをキヤッチフレーズに、美術館のある町、ジギスカンの町として観光PRを行

い、現在も信州新町観光協会や住民自治協議会を中心にPR活動を行っています。

今年の9月には、信州新町化石博物館の魅力を発信しようと恐竜コンテンツを活かした新たなイベントを開催し、大勢の皆様が当地区へ来訪いただきました。

全日本花いっぱい連盟には、信州新町観光協会が加盟し、毎年、連盟様から花の種をいただき、信州新町地区住民自治協議会が中心となって、5月に種まきを行い、育てた苗は、6月に地区内の団体や個人の方に配布する取り組みを行っています。

当地区では、商店街のある国道沿いや山間部の道路沿いのほか、ちょっとした路地など至るところに花のある景

色が楽しめ、住民は、景観を良くしたいという意識が高い地域です。  
また、信州新町地区住民自治協議会では、地区への緑化補助金を設け、地域の緑化を推進しています。  
これからも、全日本花いっぱい連盟様のご協力をいただき、地域を花いっぱいにする活動を継続していきます。



種まきの様子



花の苗配布



花壇の状況

# 富山県高岡市 花いっぱい連盟について

## 高岡市花いっぱい連盟

高岡市は、富山県の北西部に位置し、人口約16万6千人の県西部の中核都市です。全国でも有数の万葉集の歌が詠まれた故地であることから、当連盟では「みどりあふれる万葉のふるさと」づくりをすすめています。

市内には加賀藩三代藩主前田利常が二代藩主利長の菩提寺として建立した瑞龍寺、令和4年12月に「本堂」と「大広間及び式台」が国宝に指定された勝興寺の二つの国宝があるなど、400年あまりの歴史を持つ高岡には、工芸技術や祭礼・年中行事、歴史的建造物が数多く継承されており、「高岡らしい」風情、情緒、たたずまいを醸し出しています。

当連盟は、昭和33年に花と緑を育てることにより、広く市民の心や生活に潤いを与え、美しいまちと住みよい社会を作ることが目的として組織されました。

現在の会員数は、個人会員約570名、団体会員約130団体で基本方針は、①緑化の保全と活用、

②緑の創出、③緑化の推進体制を掲げて様々な活動を行っております。

まず、①緑化の保全と活用では、市内の拠点、街路歩道にフラワーポットを設置するフラワーロードの推進や、桜並木、フヨウ・カンナ・スイセンといった地域の特色を生かした街道づくりを行い、街なかになが花がいっぱいあふれる地域づくりに努めています。

次に、②緑の創出では、花苗やチューリップの球根などを配布し、市民の方々が緑に触れる機会の増加、普及振興に努めております。また、花壇コンクール、町並みフラワーラインコンクールを開催し、出展される団体の意識向上を図っております。

最後に③緑化の推進体制では、緑化意識向上のために先進地視察の研修を行っております。また、長年地域の花壇づくりなどに尽力いただいた方を表彰するなど日々の活動に対する目標づくり等も行っております。



高岡市長賞に輝いたフラワーライン(R5)



夏苗の配布の様子

以上が当連盟の主な取り組みです。今後は、「わたしたちの手で花と緑あふれるまちを」をキャッチフレーズに、子供からお年寄りまで一人ひとりが身近なところから緑化に取り組む環境づくりを推進してまいります。

### 第55号

発行日 令和6年1月  
発行 全日本花いっぱい連盟事務局  
長野県松本市中央1-18-11  
Mフライング2F  
TEL 026313213042  
FAX 026313216511